

(様式第4号)

上田市博物館協議会 会議概要

1 審議会名	令和7年度 第1回上田市博物館協議会
2 日時	令和7年5月27日 午後1時30分から午後3時まで
3 会場	信濃国分寺資料館講堂
4 出席者	児玉会長、小宮山会長代理、矢島委員、矢嶋委員、押森委員、寺島委員、小駒委員、米澤委員、中澤委員
5 市側出席者	坂部市立博物館長、久保田信濃国分寺資料館長、石田庶務学芸係長、久保主任
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年6月10日

協 議 事 項 等

1 開 会（事務局）
2 あいさつ（坂部館長） ・改選後の第1回博物館協議会の開会にあたり、委員の皆様には、博物館協議会委員を快諾いただき、心よりお礼を申し上げる。 ・博物館協議会は、博物館の運営に関する教育委員会の諮問機関として設置。任期は2年間、お世話になるがよろしく願いしたい。 ・22日に長野県博物館協議会総会が上田市を会場として開催された。県立歴史館の笹本特別館長の挨拶の中にも、現在博物館を取り巻く環境が非常に厳しい状況だという話あった。財政的にも、あるいは文化の継承者そういう点におきましても非常に厳しくなっている、という話であった。 上田市においても例外ではなく、老朽化した施設の整備、あるいは専門の学芸員の不足様々な課題が山積している。 こうした状況の中、委員の皆様には、これまで以上にご相談をさせていただくことが増えるが、引き続きご指導並びにご助言をお願い申し上げます。
3 委嘱状交付（坂部館長） ・委員へ委嘱状交付 任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間。
4 自己紹介（委員及び事務局）
5 会長、会長代理選出（坂部館長進行） ・博物館条例第14条により会長1名、会長代理1名選出。委員から推薦の確認。 ・委員から会長を児玉委員、会長代理を小宮山委員にお願いしたい旨提案あり。委員全員了承。（児玉委員、小宮山委員が前の席に移動）（会長、会長代理から挨拶） 児玉会長 ・館長の挨拶にもあったが博物館は、建物の老朽化や財政面等で厳しい状況に置かれている。皆で協力していきたい。 小宮山会長代理 ・引き続きよろしくお願いしたい。

6 協議事項

(1) 令和7年度事業計画について(資料1)

- ・資料1-1に沿い、久保主任から市立博物館事業計画について概要を説明
- ・資料1-2に沿い、久保田館長から信濃国分寺資料館事業計画について概要を説明

・以降、協議

(委員) 新上田市誕生20周年事業という事で冠がついている。具体的にどのようなものを展示する予定なのか。

(事務局) 丸子真田武石地域の展示物について説明する。丸子地域は安良居神社の薙鎌、鳥羽山洞窟の出土遺物、霊泉寺から霊泉寺阿弥陀仏像胎内物(仏面)を借用予定。また依田社に関する資料も展示できたらと考える。真田地域は真田氏給人知行地検地帳、真田氏に関する文書、戸沢のねじ行事をパネルで紹介しわら馬の展示、また菅平のミヤマモンシロチョウの生息地紹介と標本展示、武石地域は小山真夫調査野帳、巴型銅器、やきもち石を展示、また御柱祭の紹介と装束を借用予定。

(委員) 展示場所はどこか。

(事務局) 博物館本館1階の展示室を予定している。スペース的に地域ごとの区割りの工夫が必要。通常の企画展よりも広いスペースを確保しようとする。

上田地域の展示内容について、日本オオカミの頭骨を上田高校から借用できたので展示したい。

(委員) 真田地域の人間として、地域の資料を取り上げてもらうことは嬉しい。地域の活性化に繋がれば良いと思う。

(委員) 春季企画展の展示品の扁額(蒙古聯合自治政府主席・徳王)とは、どのような経緯で博物館に寄贈されたのか。

(事務局) 蒙古連合自治政府の最高顧問だった金井章二氏のご親戚が長野市にいて、上田市に寄贈したい旨、長野市福祉課から連絡をもらった。徳王は金井さんに向けて送られたもの。

(委員) (前回の収蔵品展で)柳沢家本陣のものは展示したのか。2023年に目録ができて、まだ公開されるようになったので、上田藩作事場文書と一緒に公開してほしい。柳沢家文書は箱も立派なので、併せて展示してほしい。

(委員) 新収蔵品展は3年間展示していないため、スペース的に可能であれば、資料については拾い上げをしてほしい。

(委員) 寄託・寄贈資料の収集方針について、取り決めはあるのか。収蔵庫が慢性的に飽和状態となっている。資料も様々なジャンルのものがあり、より吟味して受け入れたいと思っている。どのようなものと受け入れをするのか、譲渡・移管の判断はどのようにしているのか教えてほしい。

(事務局) 明確な取り決めはない。当館の収蔵庫も飽和状態である。博物館の立地が上田公園内という事もあり、基本的なスタンスとすれば上田藩に関する古文書等は受入、大きな民具等の資料はスペースがないため、今のところお断りしている。

(委員) 一度受け入れたものはずっと受け入れたままか。資料整理、目録はどのように行っているのか。3年間を節目としているのか。

(事務局) 取り決めはないが、寄託・寄贈資料がある程度、まとまったところで企画展を行っている。3年の間に良い資料があるかないかで期間は変わってくる。

(委員) 多くの人に展示を見てもらい、その価値を知ってほしい。素晴らしい展示をされているので是非小冊子を作ってほしい。何か記録を残してほしい。

(委員) 20周年記念という事で、それぞれの地域の文化財の展示はストーリーを組み立てるのが難しいと思うが、3部的になるのか。真田であれば山家神社、白山信仰はどのように広まったのか、丸子であれば製糸業はどのように広がったのか。笠原工業は千曲川の水をあてにしてきたが、使えずに神川から水を引っ張ってきた。全体のストーリーが見える展示をしてもらえたら面白いと思う。

- また、要望として、こういった機会に東博にっている資料を借りてこられれば良いが。
- (事務局) 各地のストーリーは壁面パネルで補填したい。丸子の資料は、各地域で出土し東博で収集した資料について、その当該地域での展示のための貸出を東博の予算で行う制度があるが、申請期間が1年以上前となっており、今回の企画展の検討段階ですでに期間が過ぎてしまっておりできなかった。次回は借用できるよう考えたい。
- (委員) 国分寺資料館の事業計画については何かあるか。
- (委員) 12年に1度の御開帳だったが、期間中の入館者数は。
- (事務局) 780人くらい。去年は同時期に180人くらいの団体が入っていたため、昨年度の方が多かった。
- (委員) 御開帳期間、水曜日に行ったが休みだった。
- (事務局) 4月29日から5月6日までの8日間。休館日については申し訳ない。次回の御開帳の際12年後になるが、申し伝える。
- (委員) 丸子郷土博物館も具体的事業は難しいか。丸子、国分寺、ともしび博物館も併せて紹介しながらお客を引っ張っていられるようなやり方を考えた方が良い。博物館だけでなくネットワーク化が必要か。
- (事務局) 池波正太郎真田太平記館で上田市の偉人を紹介する企画展を開催している。その中で一人の偉人を紹介しつつ、もう少し詳しく知りたい方は博物館や美術館へどうぞ、と案内している。博物館としても横のつながりを持った展示を企画していきたい。
- (委員) 親子の講座の拓本とりは、昔ながらのやり方か？黒曜石体験は削ったりするのか？スマホのアプリで拓本を取れるものがある。
- (事務局) 昔ながらの拓本の取り方。黒曜石体験は、出来ているもので紙を切ったりする。
- (委員) ワークショップは、募集をかけてもなかなか人が集まらないことが課題。
- (委員) 拓本は墨のぼかし方で、変わってくる。とった拓本を子どもたちにどのように位置づけていくのか。どのように意味を持たせるのか。資料としてどのようなことか説明しないとわからないのではないかな。最近では和紙そのものに触ることがないのではないかな。
- (委員) 興味のない人にいかに来てもらうかが大切。神社も8社くらいでカードを作成した。より深く文化財に関わって、地元に戻ってきたいと子どもたちが思えるような取り組みをしてほしい。
- (委員) 各神社の工夫、御朱印や境内に季節の花を竹筒で飾ったりしている。博物館も地域全体を回遊できるような工夫をしていったらどうか。委員として、もし協力できることがあれば言ってほしい。
- (委員) 博物館のオリジナルグッズを作成するとか。興味を持つきっかけとなると思う。
- (委員) 博物館講座は、去年は全5回一度に申込みだったが、今年はどうか。
- (事務局) 今年は1回ごとの申し込みとした。
- (委員) 広報に1回ごと載せることで、博物館のPRになるのではないかな。
- (委員) 常田館のことがUCVで放送されていた。館内見学の様子と糸巻きを体験している映像だった。そのようなことを博物館でもできないか。今年でなくても、対象は子ども達でなくてもよいので何かできればと良いが。
- (委員) 博物館の収蔵庫が満杯とのことだが、資料整理を事業化して一つの柱としてやってほしい。
- (委員) 資料館の地下の収蔵庫に蚕糸関係の資料がたくさん入っている。現時点だと機械類は動かすことができるが、今後どうなっていくのかわからない。資料の使い方として、子ども達に足踏みの糸巻機を一台でも使えれば面白いと思うが。岡谷市では使える状態だと思う。蚕糸関係を丸子にまとめるという事はできないか。
- (事務局) 議会からも言われているが、丸子郷土博物館の展示替えに関して、蚕糸関係の展示替えは難しい状況で予算要求も難しい。
- (委員) 議会の一般質問で、蚕都うえだのことで製糸産業関係の資料はすべて収集してあるのか質問

が出た。その際に、以前の館長がすべて揃えてあると回答していた。

（委員）蚕糸関係については（機械が）動く動かないもあるが、ただ展示するだけでなく、子ども達が体験学習を行えるような機会を考えていく必要がある。

（委員）万葉植物園の翁草は咲き終わっているのか。ランの花が育っている。ボランティアの方が一生懸命手入れされているが、歌の立札と花があっているのか確認してほしい。

（事務局）確認する。

（２）その他

４ 閉 会

- ・閉会のことば